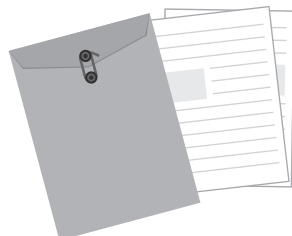


# 議案の審議

## 条例の一部改正案を撤回

条例に関する議案8件のうち、「市有財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部改正」案は、公用若しくは公共用又は公益事業の用に供する等のための公有財産の貸付け及び私権の設定において、無償又は時価より低い価格で貸付け、又は私権を設定することができるとするものとして提案されました。現行条例では、普通財産については市長の裁量で貸付等でしたが、改正後は行政財産についても市議会の議決を経ずに貸付けできるようになります。市長は、「公共施

設の空きスペースを有効活用するもので、スピード感をもって進めていく上で、改正し対応するのが合理的と考える」と理解を求めました。議会側からは、貸付けの要件や基準を定めてから提案すべき、と指摘し、市当局は精査を要するため同条例を撤回しました。



## 子ども・子育て支援新制度関連3条例は教育厚生常任委員会に付託

①「奥州市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定」  
②「奥州市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定」  
③「奥州市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定」  
これらの条例の制定案については、複数の議員が質問をしましたが、分かりにくく、もう少し詳しく説明を聞きたいというところで、教育厚生常任委員会に付託しました。委員会においては、教育部長及び健康福祉部長等の出席を求め、慎重に

審査をしました。その結果、前2つの条例の制定案については、市では子ども・子育て会議を早期に設置し積極的に協議を行い、子どもや保護者が安心して施設や事業を利用できるように配慮し、国の基準を上回る内容も見受けられるなどの観点から、可決すべきものと決しました。

なお、条例の立案検討に十分な時間がなく、パブリックコメントなどが行なわれていないことや、企業の参入を促す内容に疑問があるとの観点から、否決にすべきという意見があったことが報告されました。  
3つ目の条例の制定案については、人数が増え

た場合の対応や指導の在り方が懸念されるものの、現在の水準がきちんと確保されているとの観点から、全会一致で可決すべきものと決しました。これらについて教育厚生常

任委員長より報告され、最終日の本会議においても、委員長報告の通り可決しました。  
また、その他4つの条例に関する議案もすべて可決しました。



すこやかな子どもたちの成長を願い（前沢保育所 運動会）

次のページは「議案の審議、人権擁護員の推薦」